

巻 頭 言

本年度より生物資源学部が部局化され大学院大学となったことに伴い、紀要の名称、体裁のみならず内容も大きく改善されることとなりました。本号はその最初の記念すべきものとなります。変更点の主たるものは、従来の「原著論文」、「総説」、「博士論文の要旨」、「修士論文の題名」のほか、新たに「卒論題名」、「長期にわたる観測データなどの資料」、「調査報告」、「本学教員が主宰した学会大会や本学教員が組織委員として参加した国際会議などの概要またはプロシーディング」、「教員の研究業績リスト」などであり、取り扱う内容の範囲を大幅に広げました。

紀要の本来の目的は研究業績その他の情報発信です。大学の研究は基礎研究といえども究極的には何らかの形で学問の進歩や社会の役に立つことが求められています。この意味からも今回の紀要内容のワイド化は望ましいことと思います。

学術報告部会長田口 寛教授をはじめとし、関係の皆さんのご尽力に感謝すると共に、新しい紀要が研究科の情報発信の一つとして活用されることを願っています。

平成 19 年 3 月記

生物資源学研究科長 天 野 秀 臣